

1 月例会レポート



3月の名古屋ワイズメンズクラブの例会は、弁護士の内河恵一氏をお迎えしてお話を聞きました。先生は弁護士生活55年、御年86歳で現役かつお元気！

今までに四日市公害訴訟、新幹線騒音訴訟などに携わり、最近では全国で闘われている「生活保護基準引き下げ処分取消訴訟」の名古屋訴訟の弁護団長を務められている。加藤会長が専務理事を務められている愛知のこの電話の監事を内河氏が務められているご縁で今回の講話となりました。

お話の骨子は一家が空襲で焼け出されて非常に困窮した生活の中で、周囲の人々の配慮や手助けを受けつつ、様々な紆余曲折を経て働きながら学び、最終的に弁護士に成った人生を振り返るものでした。ご自身による振り返りに依ると

・人生何がよかったのか、何が悪かったのかはわからない

- ・人の歩みに「道筋」はない。必要なことは、「それまでの状況を受け入れる」こと
- ・人生には基本的な視点が必要。聖書の「一匹の羊の物語」が私の人生を引き出した。
- ・今は国のあり方を改めて考える時期。

とにかく困っている人を助けると言うご自身の弁護士としての信条は その生い立ち、人生経験に基づいているのだと深く感銘を受けました。

(渡辺真悟)



特別合宿例会



加藤会長
による
開会宣言

名古屋クラブは去る3月14～15日一泊研修会を行いました。場所は愛知県知多半島の夏は海水浴客で賑わう内海のホテル。テーマは名古屋クラブの将来を考える、で目の前に伊勢湾が広がる眺めの良い部屋で活発な議論が行われました。夜の懇親会も盛り上がりしました。



企画・司会進行を務めた
谷川メン

リーダー感謝会

3月23日にリーダー感謝会が行われました。

この3月に大学生活を終えYMCA ボランティアリーダーも卒業する14名のリーダーを後輩のリーダー、ワイズ、OB.OG、スタッフみんなで送り出しました。

ちょうどコロナで世の中が大変な時期に大学に入学し最初は



困難の多い大学生活だったと思いますが、逆にその中で生き甲斐やりがいを求めてYMCA に入って来た子もいるのかな？とも思います。

今までありがとう。そしてYMCAに卒業はありませんので、これからもよろしく願います。

4月 例会 講師



瀬川 景子氏

名古屋 YMCA、ウエルネス主任。アフタースクール Fun、野外活動、キャンプを担当。2006 年から約 5 年間、シンガポールのメトロポリタン YMCA で勤務。ジャパニーズセクションにて 3 年間、スイミング、親子体操、野外活動、キャンプを担当。その後、ローカルセクションへ転籍し、アクアティックプログラムの責任者を務める。現地で転職し、日系インターナショナル幼稚園の立ち上げに携わり、マネージメント業務を担当。

2021 年末、約 16 年間のシンガポール生活を終え、日本に帰国。縁に導かれ 2024 年春に名古屋の地へ転居し現在に至る。『シンガポールでの挑戦と経験』と題して YMCA を通じて出会ったシンガポールという国。そこでの挑戦や学び、貴重な経験についてお話しさせていただきます。

■■■ 第 2 例会レポート ■■■

と き :2025 年 3 月 17 日 (月) 19:00 ~ 19:30

ところ :Zoom リモート

1.4 月以降の例会 内容 & 卓話者 候補者

4 月例会 4 月 8 日 (火) 瀬川景子氏 (名古屋 YMCA スタッフ)

5 月例会 5 月 13 日 (火) 下記候補者他に打診

6 月例会 6 月 10 日 (火) 下記候補者他に打診 (候補者)

・山本 氏 オリンピアアスリート山本有真氏の父 (深谷ワイズ推薦)

・牧野和博氏 入会候補者 元名古屋ワイズ担当主事

2. 特別合宿例会 3 月 14 日 -15 日に無事終了

11 名参加

・実施報告は 4 月号ブリテンに掲載

3. 入会候補者へのブリテン郵送先追加について

・加藤会長推薦の入会候補者 2 名について候補者了承を得た後、クラブブリテンの郵送を追加する。(加藤→平野)

4. その他

・リーダー感謝会 3 月 23 日 (日) 16:00 ~ (南山 YMCA)

・西日本区大会 (神戸) 6 月 14 日 (土) クラブ取りまとめ (川本) 期限: 3 月 31 日 (月)

・東日本区大会 (宇都宮) 6 月 7 日 (土) 加藤が参加。参加希望者は加藤まで

・アジア太平洋地域大会 (熊本) 8 月 1 日 (金) ~ 3 日 (日) 個人にて登録

・中部部会 10 月 4 日 (土) 於: とやま自遊館

・2025-26 年度 西日本区大会 (なら 100 年会館・ホテル日航奈良)

2026 年 6 月 13 日 (土) 単日開催

(川本 龍資)

ハッピーベースディ

メン

塩田 保 中井 信幸

メネット

加藤 朱美、谷川 智子

会計より会費納入のお願い

会費は月額 7,000 円、年額 84,000 円です。できるだけ 6 ヶ月分 42,000 円を 7 月と 1 月に納入してください (3 ヶ月ずつ納入される方は 7 月、10 月、1 月、4 月に納入して下さい) ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781 なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ

名古屋ワイズ

ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイズメンズクラブの様々な情報はパソコンからは <https://nagoya-club.wixsite.com/toppage> FACEBOOK: 名古屋ワイズメンズクラブと検索スマホからは 1p 表題にある QR コードをスキャンすれば見ることが出来ます。一度覗いてみて下さい

ブリテン委員
からのお願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員で把握出来ておりません。ワイズや YMCA 関係の行事に参加された方は その旨ブリテン委員にお知らせください。よろしくお願いします。



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考え、めいめい自分のことだけでなく、他人のことにも注意を払いなさい。」(フィリピの信徒へ手紙 2:3～4)

西村 清

このフィリピの信徒への手紙 2 章 1～11 節を「小聖書」という言い方がなされてきました。つまり、万がいち聖書の他の場所が全部失われても、この箇所が残れば聖書の精神は残ったと言ってもよいのではないかと考えられるからです。

そこで今月の聖句ですが、一つの例として、ラグビーには、One for all. とか、Hero is equal. という言葉が使われます。前の One for all. というのは、一人はみんなのため、また皆は一人のため、それぞれ最善を尽くすというラグビー精神の持ち方だといい、団結を言い表す言葉として用いられます。また後の Hero is equal. というのは、サッカーの試合でシュートし得点した選手がガッツポーズをします。また大地にひざをつけて両手を上げて観衆の拍手をあびている光景を目にします。しかしラグビーではそのようなことは決してしないのです。トライした選手は静かにボールをキッカーに渡し、隊列に戻り、次の試合へと備えます。つまりトライできたのはスクラムを組んだ

人、ボールをパスした人たちの力によるものであり、全員がヒーローというわけです。私たちもいろいろな仕事や事業に成功した時、多くの人々の支えがあったことを覚えて、Hero is equal. の気持ちを持つことで、ますます親しみのある良い関係を保つことができるのではないのでしょうか。

ただ日常生活ではこれがなかなか難しいのです。一言で言えば、自分のことばかりでなく、他人のことも考えなさい、ということになります。だから口語訳聖書の 5 節にありますように、「キリスト・イエスにあっていていいるのと同じ思いをあなたがたの間でも生かしなさい」とあり、更に古い文語訳聖書では、「キリスト・イエスの心を心とせよ」となっています。これが信仰の心であり、聖書の精神です。

少し古い日本の文化人である和辻哲郎が「人間」という日本語は「人の間」と書くといっています。つまり間柄関係が成り立つ時、いわゆる「人間」になるということです。私たちワイズメンも心したいところです。

.....

YMCA ニュース

卒園式・卒業式

3 月 21 日(金)にこひつじ保育室で卒園式が行われました。私が園長になってから初めて全員親から離れて、私のところに保育証書を取りに来てくれました。当たり前のような話ですが、いつもとちがう雰囲気の中で、保育証書を取りに来ることは、2 歳児にとって「不安な新しいこと」です。日頃はやんちゃな園児、話しかけても恥ずかしがり屋の園児が、きちんと受け取りに来てくれました。それだけで私は胸がいっぱいでした。実は私の娘も小学校の卒業式でした。引っ込み思案の娘でしたが、なんとピアノで奏

楽する役に立候補して、立派に弾けていました。ピアノを習っていたのは名古屋にいた 2 年間だったので私がドキドキしていました。聞くと学校の音楽担当の先生にも付いてもらって結構練習したそうです。「娘もチャレンジしてるなあ」と感心しました。

巣立ちの季節は「新しいことへのチャレンジの季節」でもあります。新入園児、新入会員は「不安」を持って「新しいチャレンジ」をします。そこに寄り添うスタッフでありたいのと同時に、私自身も 2025 年新しいチャレンジを試みたいと思っています。(中井信幸)